

「久屋大通(南エリア)再整備構想(案)」に対する 市民意見の概要及び市の考え方

「久屋大通(南エリア)再整備構想(案)」に対し、貴重なご意見をいただきありがとうございました。みなさまからいただきましたご意見の概要と、それに対する市の考え方を公表いたします。

なお、ご意見については内容を要約し、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、内容により分割するなどして掲載していますので、ご了承ください。

令和7年3月
名古屋市

【市民意見募集の実施結果】

1. 期間

令和7年1月20日（月）～2月18日（火）

2. 提出状況

提出者数：51人 意見件数：183件

3. 提出方法

提出方法	提出者数
郵送	4
ファックス	5
電子メール	40
持参等	2
合計	51

4. 意見の内訳

項目	意見
総論	24件
「毎日にぎわう空間」について	42件
「観光・交流の促進」について	12件
「イベントや文化の発信」について	14件
「集客機能の導入」について	12件
「暑さ対策」について	4件
「まちを歩きたくなる空間」について	58件
「回遊性向上」について	24件
「東西道路」について	8件
「南北道路の廃道や車線減」について	4件
「昇降機能」について	6件
「モビリティ」について	6件
「物流機能の確保」について	4件
「駐輪場の整備」について	6件

「都心の憩いとなる空間」について	16件
「憩い・集う公園」について	11件
「植栽」について	5件
「安心・安全な公共空間」について	2件
「安心・安全の確保」について	2件
他エリアとの連携について	6件
「北エリア・テレビ塔エリアとの連携」について	2件
「大須との連携」について	4件
その他	35件

《総論》（24件）

市民意見の概要

- ・久屋公園南エリア再整備構想案の方向性に賛同します。
- ・名古屋の代表的な“顔”の久屋大通公園を再整備して活性化しようという“総論”としては賛成。
- ・特色ある他の都市にはない奇抜で面白い公園にするのではなく国籍を問わず老若男女、障害の有無にかかわらず誰もが安心して安全に利用出来る公園にしてほしい。
- ・名古屋が誇るべき都市空間に仕上げてください。
- ・名古屋（栄）にしかない『オンリーワン』のものを創造してください。
- ・繁華街と広場空間が共存する都市環境は栄地区の特色・財産であり、それが最大限に活かされる整備が行われることを期待しています。
- ・広大な公共空間と大規模で集客力の高い商業集積の一体性を高めることで世界に誇れる都市空間が実現します。
- ・一度“壊した”公園を再び整え直すのは膨大な時間と費用がかかり、取り返しのつかないことになる。しっかりとした「百年の計」となるよう、計画を整えるべき。
- ・再整備構想(案)に掲載されている他都市事例や最近話題となっている大阪の芝生空間「グラングリーン」、 “テレビ塔と都市の大通公園”として参考にできる札幌の「大通公園」などの良いところを活かして整備を進めていくべき。
- ・平日人口が少なくかつ、公園が町を分断してしまっているため、事業者にとっても魅力ない公園になってしまっている。
- ・北エリアと異なり、綺麗な状態が維持されておらず、行きたくないエリアと思う。
- ・きれいになった北エリア・テレビ塔エリアに比べ見劣りする南エリアがきれいになることを期待します。
- ・既存の栄、矢場町の街並みとの調和、融合を心がけてほしい。北側の特に中心部の“壁化”の二の舞いは避けるべき。
- ・久屋大通（南エリア）の再開発については、このエリア内の人流を活性化させることが急務である。そのため阻害要因である人/車の動線は完全に分離し、エリア全体として一体感を持った公園整備を目指すべきである。ゾーンに分ける、というコンセプト自体が分断（統一性の欠如）を助長していて、人々がわざわざ目指す場所としての期待、ワクワク感がない。（それぞれが小粒になっている印象を受ける。）
- ・ABCDのゾーン別の整備コンセプトは、ゾーンごとのまとまり優先になり、どうしても箱庭的デザインになるので、各ゾーンを貫き中央の軸線を生かした空間デザインを導入し、オープンスペースを基軸に、商業施設は点景としての配置（良い例：久屋大通りの北端ゾーン）に抑える。
- ・再開発コンセプト《後世に受け継ぐべき視点》に、名古屋城を中心として、徳川園、熱田神宮に加え、久屋大通（南エリア）を中世の歴史をイメージする基点として捉える「歴史的シンボルを補完・拡充する視点」を加筆する旨を提案します。北が商業と散策、南がイベントと散策と役割を位置付けることはいいと思いますが、課題となる地形の高低差を利用して、城跡、サイン、壁などに中世の歴史的なイメージを設えるコンセプトを入れ込んだらどうかという提案です。清州越しを遡ること約80年前の1535年に、今川氏親がこの地（今の名古屋城の一部）に築城の起源を発し、2035年に区切りの500年を迎えることとなります。500年の歴史を語れる都市は希少であり、もし名古屋城が新築されることになれば、久屋大通公園

と合わせて記念行事が開催できますし、その後も名古屋まつり（コンセプト変更）の基点として使用できるのではと考えます。

- ・公園を作って人が来るのか、リピートするのか、こじんまりと作って楽しいか。名古屋市、本気度を見せろ。
- ・今回の『久屋大通（南エリア）再整備構想（案）』のずるいのは、再整備するゾーンをぼんやりと色分けをする際、緑色を使っているところ。緑地を減らす、あるいは増えない可能性があるのに、全体像を指し示す色合いとして「緑色」を使うのはミスリードをイメージさせる可能性がある。正しく表示すべき。
- ・抽象的すぎると言葉（キーワード）が躍るだけで、陳腐であり、具体的なイメージが描きにくくなります。イメージしやすい表現（提案）にして欲しい。
- ・新鮮味、新奇性、目新しさ、将来に向けた変革・提言を感じることができませんでした。ウォークアブルやウェルビーイング、イベント空間、レガシー、デジタル技術の活用といったそれ自体は多いに賛同する良い表現を使っていると思いますが、具体的なハード面に物足りなさを感じます。人口減少・高齢化社会、インバウンド増大に即したものになればと思います。
- ・南エリアは、賑わい一色ですが、何故ですか。
- ・近隣住民や近隣就労者が日常的に利用できる施設や取り組みを作ってください。観光客などに頼るのではなく、日常利用の重要性を明確にうたってください。
- ・平成の初めに大規模な整備をすでに行っており、デザイン変更を伴う再整備には反対です。もし再整備をするのなら、大規模な設備更新でよいと思います。公園の使い勝手については、不便と思われる部分を改良すればいいと思いますが、あくまでも現行のデザインを維持する形で行ってほしい。2020年に完成した久屋大通の改修では、テレビ塔南の部分が商店街にされ、公園なのか店舗なのかが分からなくなってしまい、失敗だったと思うので、こうした改修ならやらないほうが良いと思います。

市の考え方

- 平成25年に策定した栄地区グランドビジョンに基づき栄地区・久屋大通の再生を進めています。久屋大通南エリアは「にぎわいの空間」と位置づけ、大規模イベント空間の充実を図り、来訪者が集い楽しむことができる公園を目指し、次の取り組みを進めることとしています。
 - ・ 開放的な広場やイベントなどが実施しやすい基盤整備
 - ・ 地下空間とあわせた集客・交流性の高い空間としての再整備
 - ・ 地上と地下の連続性の強化
 - ・ 南北の連続性の強化
- 南エリアの再整備にあたっては、都会性とゆとりが共存するまちという栄地区の特徴や、名古屋の都心部を代表する空間となっている久屋大通の景観や大規模イベントが行われる特徴を最大限に生かすことが重要だと考えています。そのためには、後世に受け継ぐべきシンボル空間等としての役割を大切にしつつ、再生に必要な新たな視点を取り入れた整備や管理運営を実施し、中長期的な展望のもと、久屋大通の一体的な空間活用や、地域連携、DXの推進等を促すことで、様々な人にとって居心地がよく、感性が刺激される、ここにしかない魅力的な場所にするとともに、国内外から多様な人を惹きつけ、人々の出会いや交流により、南エリアを新たなつながりや価値が創造される都市の活力の源泉となる場としていきたいと考えています。
- 具体的な再整備の内容については、今回市民の皆様から頂いたご意見も参考にしながら、

今後実施を予定している民間事業者との対話を通じて、その効果や実現性、事業費や事業スキームなどの検討を経て、具体化していく考えです。

《「観光・交流の促進」について》（12件）

市民意見の概要

- ・観光案内所を設置し、栄を起点に観光できる多様なコースを作ってほしい。
- ・「世界コスプレサミット」をもっと活かせるような整備を何かできないか。オアシス 21 と大須通りで分断していて、久屋大通がイベントの盛り上げに取り残されている印象があります。
- ・ジブリパーク、コスプレサミットがあるため名古屋をアニメの街と定義し、さらに鳥山明氏の出身地であることからドラゴンボールのミニテーマパークをつくる。ジブリ、ドラゴンボールの象徴のモニュメントを A ゾーンに、ジブリの巨大ロボット、ドラゴンボールのモニュメントを B ゾーンに設置し、その世界観を味わえる空間とする
- ・希望の広場やサカエ ヒロバスに天守閣にある金のシャチホコのレプリカを設置し、テレビ塔を背景として写真スポットにし、名古屋の PR シンボルとして活用すると良いと思います。
- ・世界的に人気のアニメ『機動戦士ガンダム』は名古屋テレビ（現メ〜テレ）で生まれたにもかかわらず、一度も“実物大ガンダム”が名古屋に設置された事が無くとても残念に思っています。名古屋の活性化の中心的なアイコンとして“実物大ガンダム”が設置されれば世界的にも名古屋の知名度が上がり、設置費用と年間維持費を遥かに上回る経済効果が見込まれると思われまます。
- ・希望の広場の中央には新たなミズベヒロバを配置し、両サイドにサンリオキャラの常設カフェを数店舗配置させることを提案します。
- ・日本らしいおもてなしの温浴リラクゼーション施設や日本が誇るアニメ・マンガ文化のテーマパークなど、久屋大通に来たいとインバウンド観光客に思ってもらふ賑わいの施設を作ってはどうか。旧町名・旧跡から日本らしさの何かアイデアが出てくるとよいと思ったりします。
- ・小さいスペースに日本の街並み（だんご、ぜんさい、土産物店、小さな芝居小屋など）を再現し、観光拠点にしてはどうか。
- ・空を飛んで名古屋城、熱田神宮、テレビ塔、犬山城、高山、白川郷、伊勢神宮、那智の滝をめぐる 4D シアターを設置してほしい。
- ・久屋大通と広小路の交差点に 758m のグレートタワー名古屋を作り、爆発的に盛り上げて人が集まるようにしてほしい。
- ・どでかい観覧車を作してほしい。
- ・名古屋駅を利用したことのある全国の人々に認知度が高く「ぐるぐるたん」などと呼ばれて親しまれていた『飛翔』を再整備の象徴として、久屋大通最南端あたりに再整備するのがいいと思う。

市の考え方

- 名古屋を発信するシンボル空間として、国内外から多様な人を惹きつける魅力の向上と、来訪者のニーズに応えられるよう、今後実施を予定している民間事業者との対話を踏まえて、ハード、ソフト両面の取組について検討します。

《「イベントや文化の発信」について》（14件）

市民意見の概要

・久屋大通は栄地区の貴重な資源なので、栄 VS 名古屋駅の図式の中でその資源をどう活用していくかを考えなければいけないと思います。その点で毎日の賑わいを創出するイベント空間としてよりブラッシュアップするのは、名古屋駅に無い強みを更に生かすという点で望ましい方向だと思います。ただ大事なことは、ハードもさることながらソフトが肝心という事です。

現在は各主催者がイベントの申請をして公園管理者が許可をするという図式かと思いますが、これを改め、一年を通じて毎日賑わいが創出されるように、年間を通してイベントの企画、プロデュースをし、それに基づいて切れ目なくイベントを打っていく、それが最も大切な事ではないでしょうか。現在のように場当たりの開催されるのではなく、1年を通じてどうお客を呼び込むかという視点から、継続してイベントが開催されることが肝心だと思います。あそこに行けば毎日何かをやっている、そういう意識が市民に浸透すれば、一層集客力も強まるのではないのでしょうか。また四六時中イベントを開催することによって、無機質な空間というデメリットも解消される副次的な効果も期待できます。指定管理者などをお願いすることになるかと思いますが、その中にはイベント企画やプロデュースを生業とする人若しくは企業を加えて、イベントオリエンティッドの色を出していったらどうでしょう。そういう人たちの意見から、イベント実施に必要な施設整備にも答えが見つかると思います。

- ・Dゾーンは、大須に近いことから、「毎日が縁日」をテーマにし、通路を迷路風にした屋台村を設置したり、年に1回「軽トラ屋台サミット」を開催してほしい。
- ・イベントを開催しやすい空間の整備とありますが、イベント開催前提でスペースを設計すると、イベントがない日は、だだっ広い空間となってしまう魅力低減につながる。イベントは、栄の再開発がとまってしまってコインパーキングになっている空きスペースが多くあるため、そこで開催できるようにすべき。
- ・電源、照明、搬入搬出用ルートおよび駐車スペース、水回りなど、イベントに必要なハード面について、配慮してほしい。
- ・エンゼル広場、エディオン久屋広場、サカエヒロバス、愛の広場を一体的なイベント空間として生まれ変わらせてほしい。
- ・オアシス21のような構造物や広場の全部または一部を覆う屋根、全天候型ドームを設置し、雨の日でもイベントが可能な空間にしてほしい。
- ・雨天でも対応できる客席スペースやステージ、芝生ゾーン作りなど、来場者に優しい広場施設を検討してほしい。
- ・現状の厳しい音量規制について、再度検討してほしい。
- ・ゴミへのストレスを無くしてほしい。
- ・1991年から久屋大通公園で開催している「ふるさと全国県人会まつり」は、全国各地の郷土芸能や、地域で親しまれている食の魅力、特産品などを紹介し、数多くの名古屋市民に親しまれています。久屋大通公園エディオン久屋広場の再整備は、市民が楽しみにしている数多くのイベントが開催可能となるよう、次の事項をお願いします。

1 利用環境の維持

再整備後も火気を使用する食品の調理・販売や、ステージで歌唱・演奏・ダンスを伴うパフォーマンスの実施が可能となること。

2 会場使用料の減免

会場使用料は名古屋市が主催する事業には減免措置が施されていますが、再整備後も、「ふるさと全国県人会まつり」に同等の減免措置が受けられること。

3 屋根等の設置

久屋広場には常設の屋根がなく、雨天の際は来場を予定していた市民や回遊客が立ち寄りなくなる傾向があるため、再整備に際しては、広場の全部または一部に屋根を設置すること。

4 常設施設の設置

久屋広場で開催するイベントのほとんどが都度、飲食・販売・運営等で必要な仮設テントを設営していることを踏まえ、利便性の飛躍的な向上のため、広場内に接客対応や調理行為が可能な常設建造物を設置すること。

市の考え方

- イベント開催を容易とするとともに、設営・撤去期間を短くすることで、イベント以外での公園利用の期間が長くなるよう、必要な設備の整備についても検討します。
- 栄地区グランドビジョンにおいて、「南エリアはにぎわいの空間」と位置づけられています。現在も、各広場において様々なイベントが開催されて多くの来訪者で賑わっていますが、名古屋を代表するイベント空間として、イベントを開催しやすい空間を整備するとともに、新たな交流を生み出す空間の整備についても検討します。
- イベントの実施について、南エリア内での連携や、北エリア・テレビ塔エリアなど周辺エリアと連携したイベントを開催するなどにより、エリア全体に賑わいの効果が波及するような取組や運営の方法について検討します。

《「集客機能の導入」について》（12件）

市民意見の概要

- ・ゾーンDでは開放的で快適な空間とイベント・緑・まちが一望できる都市景観を維持しながら、音響映像装置を備えた屋外劇場などのように様々な使い方を可能とする大胆な仕掛けが良いと思います。
- ・屋内アリーナのとなりか現在のフラリエに野外音楽堂を整備していただきたいです。
- ・光の広場、南噴水広場にホール、アリーナ不足に貢献できる多目的屋内アリーナ（6000～9000人）はすばらしいアイデアですよね。屋内アリーナには愛知・名古屋のホームとするプロスポーツチームであるバレーボールSVリーグのチームジュイテクトさん等のホームアリーナとしてホームゲームを開催したり、名古屋グランパスや中日ドラゴンズのゲームのパブリックビューイング会場としてはどうでしょうか。
- ・Dエリアに集客機能を付けるならライブやイベント会場となる屋内施設や劇場を建設してはどうでしょうか。ライブやイベントにくる県外の来訪者なら大須で食事や観光をしてからライブやイベントに、という動線も生み出せると思います。逆に言うとイベントやライブといった「目的」を生み出せないと「グルメ・ファッション・ショッピングなら名古屋駅で良いじゃん、栄にまで良く必要が無い」となってしまうと思います。
- ・光の広場は地下鉄矢場町駅と直接繋がったCOSMのような大画面と高精細のパブリックビューイングを想定。その前面に舞台を設け、若者のクリエイターやパフォーマーなどが公開収録する場、試写会などを可能にした空間と、フラリエと有機的に繋がった庭園と繋がった客席を想定。自然と仮想コンテンツとの融合によって、ここにしかない没入体験を数1000人と一緒に楽しむ劇場型ドームを提案します。パブという形式を取りつつも、大騒ぎにならないようアルコール度数を抑え、かつオシャレな空気づくりをデザインしながらスマートな空間を

想定、ミライタワーとの従来の光の演出も引き続き行うことでこの存在感を失わせない様配慮します。規模的にはエディオン久屋広場と一部繋げることも考えるべきだと思います。

- ・建物の高さに制限があるのであれば、地面を掘り下げることを選択肢の一つではないでしょうか。
- ・災害時の屋内避難所として劇場があると助かる。
- ・交通の便が良い中心地に劇場があると名古屋飛ばしも減るのではないのでしょうか。
- ・集客施設は、沿道から見た際に圧迫感を感じさせないような、また、心理的にも動線的にも東西を分断することがないような外観・機能性を確保していただきたいです。
- ・集客施設が多目的ホールであるならば、音響やその他設備が洗練されたものであり、幅広い用途に応えうる、「選ばれるホール」・「愛されるホール」を目指していただきたいです。
- ・Dゾーンに人を集めるためにフットサル場を設置してはどうでしょうか。フットサルは、一人でも参加しやすいスポーツです。また、老若男女、軽度の障がい者なら一緒にプレー可能な「ウォーキングフットボール」のイベントを定期的を実施することで全世代を集めやすくなると思います。
- ・光の広場に集客施設（多目的ホール？）を建設するのはやめて欲しい。久屋大通は、戦災復興事業で、先人達が苦勞し造り上げた名古屋市のシンボルであり、誇れるものです。街のど真ん中に広がる豊かな空間は、大切にしなければなりません。

現状、公共空間・公園として魅力が乏しいというのであれば、魅力向上策は必要でしょう。

しかし、それは公共の空間をつぶすことではありません。集客施設の敷地にしてしまったら、市民はくつろぐこともできなくなります。例えば、札幌の大通公園を敷地にして多目的ホールが造られたとしたら、どう思いますか。ニューヨークのセントラルパークがショッピングモールになって、多くのお客さんで賑わっていたら、いい街づくりをしているな、と思いますか？多目的ホールが必要なら、土地を買って、造っていただきたいと思います。このまま放っておくと、そのうち久屋大通は建物だらけの普通の区画に戻ってしまうのではないかと危惧しています。

- ・グリーンインフラ/貴重なオープンスペースを戦災復興の遺産と位置付けているが、Dゾーンは中央に集客施設配置となっており、まるで通常の大規模敷地開発の様相と似ているのは、いただけない。ましてイノベーションが生まれる云々とあるが、ステーションAIのようにイノベーションを生む仕組みをこのDゾーン・集客施設は果たして備えるのだろうか。
- ・南噴水広場はフラリエと有機的に繋がった庭園とそれに合った噴水を提案します。
- ・Dゾーンに多目的施設ができることで、交通量の増加や施設利用者の自動車乗降等による路上駐車により、東陽通をはじめ、栄東地域周辺の道路渋滞が悪化する可能性があるため、適切な対策を講じていただきたい。

市の考え方

- ゾーンDには民設民営による新たな交流を生み出す魅力的な集客機能の導入を想定しています。集客機能には、広場や園路の確保など公園としての機能を保ちつつ、災害時には来訪者を安全に避難誘導できる拠点としても活用できるよう検討していきます。
- また、集客機能の導入にあたっては、多様な人々の出会いや交流を通じたイノベーションが創出される空間づくりや、周辺への圧迫感の軽減など景観への配慮、駅や広場と周辺のまちとの人の流れをつなぐ空間づくりなども含め、整備内容について民間事業者の意見も踏まえながら検討を進める考えです。

《「暑さ対策」について》（4件）

市民意見の概要

- ・サカエヒロバスからエディオン久屋広場までの各広場の中央付近には日光を遮る物が殆どありません。真夏にイベントが開催されると必ず多くの人々が熱中症で倒れています。木を植えて日陰を作ったりタープの様な日除けをたくさん設置し、日陰エリアが充実した公園にしてください。それとアスファルトやコンクリートは全て無くし、芝などで緑化して欲しいです。
- ・2024年の名古屋の猛暑日は6～8月で39日、連続では25日となるほど、屋外は暑くて使えません。暑いと言うより熱いという表現になります。今後、猛暑日はさらに増えていくと予想されます。P.19にはヒートアイランド対策の言葉は使っていますが、具体的にどうするのか不明。イメージできる提案が欲しいところです。例えば、エンゼル広場に開閉式テント屋根または開閉式アーケード型屋根で陰影を形成（ただし、景観問題は残るし、費用もかかるが、雨天でもイベントは確実に開催できる。若宮大通の場合、都市高速道路が屋根の役割を担う。）や熱を吸収しにくい広場の表面材（舗装材）の使用、夏場はカフェテラスにオーニングやシェードの設置を推進、歩道街路樹のダブル植栽の徹底、沿道ビル内にクーリングシェルター（熱波避難のためのたまり空間）の整備要請（西側沿道には大規模商業施設があり、対応可能だが、東側沿道では中日ビルしかないの、対応策を検討する必要がある。車線減にすればそこにベンチ等の休憩施設を設置して、高低差による日陰を活用できそう。エアコンはないが。）
- ・暑さ対策の施設か設備を要件に入れてください。

市の考え方

- 暑さ対策は、イベントの来訪者だけでなく日常的に利用される方についても、安心安全で快適に過ごせる公園として再整備する上で、必要な機能であると認識しています。頂いたご意見を踏まえ、16ページ「〇日常的に訪れたい空間の形成」の記述について、下記のように文言を修正致します。
「・安心安全、快適に過ごせるよう広場、園路、照明等の配置に配慮するとともに、暑さ対策を施すことで、昼夜を問わず訪れたい空間の形成を図ります。」

《「回遊性向上」について》（24件）

市民意見の概要

- ・百貨店や商業施設はあるものの、あくまでも沿道にあり中央の久屋大通公園を通るモチベーションはあまりないと思います（イベント時除く）。銀座や上野公園の通りを考えると、通り道としてスムーズに移動ができることによって、人の往来が活発化し、その通り道のイベントや溜まり場にも人が集まると思います。
- ・ウォーカブルな街づくりも時宜に合った方向性で首肯できます。ただ栄の南北の賑わいは久屋大通と南大津通があり、ある意味どちらを思い切って徹底したウォーカブルな通りにするのか色付けが必要かとも思います。そうでないとどちらもどっちつかずの整備にとどまり、いわゆる虻蜂取らずになりはしないかと心配します。久屋大通は自転車に使いやすい通りにしていくのも一つの方向性かとも思います。
- ・名古屋都心部の歩道には、その舗装が清潔さに欠け洗練されていないがために、歩きたくなる動機づけを十分に行えている状態であるとは言い難い箇所が少なくありません。ゆえに、「歩きたくなるまち」を掲げるならば、久屋大通の沿道に限らず各歩道的美装化を推進していただきたいです。
- ・公園側もしくは歩道側の歩行者空間を拡大し、両者が背を向けるのではなく、歩行者の物理

的な距離を縮めることは如何でしょう。

- ・沿道との高低差をなくしたり広場が道路により分断には地つづきのスペースを作って横断を可能したりと広場を活用できる南エリアにしていきたいです。

- ・P.7 断面イメージ 高低差の課題解決に向けて

特に東側道路と公園とに大きな高低差（エンゼルパークで5m程度）があります。そこには回遊性において課題があるとしていますが、その解決策、改善策は「整備の方向性」で明確になっていません。これをどうするのでしょうか？公園の活動が東側沿道からは全く見えないので（音は聞こえるが）、段差壁面にパブリックビュー的モニターを置いて、覗き見感覚で一体感を演出するのが、一つのイメージですかね。

- ・P.17 公園と沿道が呼び合う空間づくり

これができるのは公園西側で、東側は段差があって呼応しません。また西側沿道のビル1階には、スタバとコメダを除いて飲食店がなく、多くは物販店舗のショーウインドーや出入口が占めます。図のような建物側にカフェを設置すると、ショーウインドー効果を低下させたり、建物出入口の通行障害を招いてしまったりしそうです。その場合は歩道の車道側に設置し（これまでの実績はこの場所。店舗側に聞くと圧倒的に車道側を望んでいます。）、公園側との呼応距離を短くするのが手ではないでしょうか。ただし、中日ビル1階は「ブルーボトル」があるので、ビル側にカフェを設置できますが、メインは広小路通側になりますね。

- ・久屋大通公園の南北方向を分断している三蔵通、白川通などを一部トンネル(カルバート)化して、公園内を南北方向にノンストレスで移動できるようにしてほしい。公園を南北方向に一体化する。

- ・広小路通りと錦通りとの左右の交差点（計4箇所）をスクランブル交差点とし、歩行者の安全かつ快適な動線を確認してほしい。

- ・東側南行道路は高低差を利用して公園から沿道歩道に歩道橋を架けて、車道を横断せずに公園にアクセスできるようにしてほしい。

- ・久屋大通・若宮大通が広い道路であるがゆえに分断されてしまうので、一方の賑わいを道路を隔てた反対側に及ぼせるものができないでしょうか。

- ・公園の周りの道路を一方通行のオーバーコース状にして公園の東側から西側へ西側から東側へ周回出来るようにしたらどうでしょうか。そして公園を挟むようにある東西の広い歩道からは道路を渡らずに公園内に行けるようななだらかなスロープの大きな歩道橋を複数点にさせてはどうでしょう、ペDESTリアンデッキのような。中日ビルやラシックなどのビルの2階からデッキへ直接出られるようにしても面白いと思います。

理想は外堀通りから若宮大通までつなげてしまうのは良いと思います。ただ桜通りや錦通り広小路通りを分断するわけにはいかないので、そこはトンネルをかぼつと被せるような形で通行を担保してトンネルの上に土を乗せ芝や花や木を植えて公園の一体化を実現してはどうでしょう。また広小路通り若宮大通間で東西の道路を確認したい所があれば先程のトンネル方式にしたら良いと思います。イメージとしては松坂屋前のエンゼルブリッジの幅が公園の幅と同じ幅に広がった感じです。そしてそこに土を盛って起伏のある丘のようにします。丘を越えれば隣のブロックへ行けるということです。例えばラシックの前の歩道からオアシス21まで道路を渡ったり地下街を通ったりせず地上を歩いて直接行けたらすごく素敵だと思います。

交通事故の心配もなく久屋大通公園全体を北から南まで道路を渡らずスムーズに行き来出来ればきっと安全で楽しい他に類を見ない素敵で個性的な公園になると思います。欲を言えば

光の広場からテレビ塔そしてケヤキヒロバまでゴンドラで繋げて将来的にはケヤキヒロバから名古屋城までゴンドラを通してはどうでしょうか。

- ・公園再整備なのでそういうことかもしれませんが、歩道活用に触れないのは何故ですか？
- ・ウォークブルという単語が多く露出していますが、何故ですか？また、ウォークブルとは何かの目的なくブラブラするようにしたいのであれば、それは整備するものでなく、文化として根付かせるものです。文化とウォークブルの相関性を理解していますか？
- ・寒い時期にも滞留・ウォークブル（皮肉です）な公園にする設備を要件に入れてください。
- ・① 久屋駐車場のB1階は自転車駐車場に転換し、車の駐車場はB2階のみとします。

これによって、両側歩道上の自転車駐車場を廃止して駐輪を無くし、歩道にオープンカフェを配置するなど、よりウォークブルな空間にできます。

② 久屋駐車場が①により収容台数を半減できるため、駐車場への出入口のうち南進での入口と北進での出口を廃止します。

これにより、広小路を経由する車を減らすことができ、入庫待ちの車列も減らせるうえ、ヒロバスと愛の広場間の車道舗装面積を極力減らして南北の歩行者動線の確保と広場空間の拡大が可能となります。

- ・広小路通り、三越以南から松坂屋までの地下通路の新設
 - ・地上とともに利便（回遊）改善
 - ・避暑対策（地上の樹木や施設の限界）
 - ・「名古屋といえば地下」を売りに
- ・南エリアには歩車分離信号やスクランブル交差点・バス優先信号がなく、徒歩でも信号待ちで長い時間を余儀なくされている。全く似て「ウォークブル」とは言い難い。歩車分離信号とスクランブル交差点・バス優先信号の設置が必要ではないか。

また、久屋大通を南北に走るバスは、基幹1・栄20が南北に、栄21・栄23が北向きの栄行きのみ久屋大通を走行するが、いずれも栄オアシス21バスターミナル発着であり、そこから北への回遊性が、東西を貫く道路（広小路通・錦通）の広さとともに、北エリアとの著しい断絶を招いている。久屋大通をちょいおりの気分バスで回遊するのも不便である。

久屋大通南エリアには広大な地下駐車場が設置されており、沿線のデパートと歩行者連絡通路で直結しているが、これも過度なマイカー依存を助長している。駐車場事業者・デパート等とともに、地下も過度なマイカーに依存せず、地下駐車場も地上部分と同じよう「ウォークブル」な賑わいをつくるための施策も必須なのではないか。

市の考え方

- まちを歩きたくなる空間づくりを進めるために、次のような取り組みを進め、歩く楽しさ・喜びにあふれるウォークブルタウンへ変えていきたいと考えています。
 - ・ 公園と沿道が呼び合う空間づくりを進めるために、例えば、植栽帯の地被類の整理や樹木配置の見直し、公園施設等を沿道・園路への圧迫感を極力軽減した規模・デザインとすることなどにより、沿道からの見通しやエリアとしての一体感を確保する取組を検討します。
 - ・ 歩きたくなる魅力的な空間を形成するために、憩いの場となる広場やにぎわいを生み出す施設を南エリアの適所に配置することにより、多様な人を惹きつけ、まちを歩きたくなる仕掛けを施します。
- なお、今後実施を予定している民間事業者との対話を通じて、南エリアの南北、東西方向の歩行者等の回遊性向上に資する取組の可能性や、その実現性についても検討します。

《「東西道路」について》（8件）

市民意見の概要

- ・ 錦通、広小路通、若宮大通を除く広場を分断している東西道路を廃止（一部、駐車場の出入口を確保）して、回遊性を高める。
- ・ ゾーンCとゾーンDの間の道路を地下駐車場入口までの動線のみ車両通行可として、残りのエリアは歩道として整備（歩車分離）する。
- ・ 自動車通行の道路については、東西方向は原則廃止し公園の南北の一体感を優先して欲しい。設けるならば蓋をする、地下化等して公園の南北一体性を阻害しないでほしい。三蔵通、白川通は突き当たりまたは突き当りに近く封鎖可能。駐車場は出入口を久屋駐車場のように入屋大通から入るようにする。
- ・ 現在の大通公園は東西に跨る複数の道路が公園を分断するかのようになっており、公園が複数のブロック化した小さな公園の集合体ようになっており、その南北のブロックとブロックの間を人々がガードレールを乗り越えたり信号無視したりして渡り歩いている、そんな危険な状態が長年続いています。危険なのは南北のブロック間だけではなく、大通公園を東西に歩いて渡ろうとすると1回の青信号では渡りきれず走らないと間に合いません。その為に急ぐあまり転倒したり、直前で変わった赤信号を無視して強引に渡って交通事故に遭う人もいます。ですから私は広小路通りから若宮大通までのブロックを分断する東西の道路を無くし、点在する公園を一つの長方形の公園にすることを提案します。
- ・ 東陽通は歴史のある道路かも知れませんが、一方通行で車は少ないので廃道することで、広場を一体化し、歩行者の安全かつ快適な動線を確保してください。道路の名残を石畳舗道とするなどによって残すこともあり得ると考えます。廃止への地域の理解を求めて下さい。
- ・ 東陽通は路上駐停車が絶えず、夜間も遊び目的の車やトイレのためにタクシーや一般車が止まっています。この道路を久屋大通から塞いで歩道に転換し、エリアごとに車道で分断しないようにしてはどうか？パークにくる人の回遊性も高まるのでは？
- ・ 栄東地域にあります東陽通りは、ご存じのように空港線から大津通りまでへの通り抜ける事のできる唯一の道路であります。栄東地域の人達のみならず近隣の人達にとりまして大変重要な道路であります。ぜひ東陽通りが今まで以上に通りやすくなる道路への改良を希望いたします。

市の考え方

- 南北に長い南エリアを、東西方向の道路が分断しているため、広場間の行き来をしやすく、また路上駐車等を誘発しないよう、路肩に余裕のある一部区間の横断構成の見直しを図るなど、南北を回遊できる動線を確保する方策について検討します。

《「南北道路の廃道や車線減」について》（4件）

市民意見の概要

- ・ 南エリア西側の車道を車線減など（トランジットモール化又は歩行者空間化）により公園と商業施設がつながり、これまでに見たことがない都心の景色ができます。
- ・ P.17 公園と沿道が呼び合う空間づくり
久屋大通の東と西の道路の車線を減らして、公園と沿道の距離を縮める施策はここでは提案しないのでしょうか？北エリアで以前に社会実験されましたが、その成果は生かされないのでしょうか。

- ・久屋大通西側北進道路は、北向き一方通行で車線数を1車線とし歩道をつけること。
- ・久屋大通の南北車道を廃止し、デパートや近隣飲食店で購入した食事を食べる場所を作り、滞在時間を増やすための芝生エリアや屋根付き休憩所を配置したり、近隣で働く人の運動不足解消(名城公園のようにシャワールームがあるといい)のためにウォーキング&ランニングコース配備、デパートに買い物に来た家族の遊び場を確保するために大型遊具の配置、博多の屋台街のように夜間の魅力向上のための夜市特区創設(キッチンカーや屋台村の営業をしやすくする)してはどうか。

市の考え方

- 南北方向の道路について、現時点では沿道の大型商業施設等の来訪者の地下駐車場への入庫待ちの車両による渋滞や、路上駐車がみられます。そのため、沿道の再開発の動向や道路空間活用の機運、今後の交通施策等を踏まえながら、将来的な道路空間の再編による歩行者空間の快適性向上などについて継続的に検討します。

《「昇降機能」について》(6件)

市民意見の概要

- ・久屋大通南エリアのエントランスでもあるBゾーンには、南エリアと周辺街区や地下街をつなぐ結節点となる整備を行う。
 - ①結節点にはサンクンガーデンを整備し周辺街区ビルや地下街と接続させる
 - ②サンクンガーデンを介して地上の公園空間と地下街空間を結ぶ動線を確保する
 - ③サンクンガーデンは大屋根のある全天候型交流空間とし、イベント広場でも活用する
 - ④サンクンガーデンにはLEDビジョンを設置し、交流空間や公園南エリアでのイベント情報など様々な情報が発信できる情報発信拠点とする
- ・以前の再整備イメージに、現ヒロバス部分には半地下のイベントスペースがありましたが、そのような具体的な施設イメージが無くなったのは何故ですか？
- ・広小路通と久屋大通が交差するところは、名古屋の都心で一番のアピールポイントになる場所で南エリアの中での貴重な平場。そこに多額の費用をかけて大きな穴を開け、地上を使えなくするのは正気の沙汰とは思えない。昇降機能を導入すれば人を誘導できると考えるのが大間違い。地上の公園が魅力あるものになれば、人は自然に(階段を上ってでも)行くようになるし、行く価値がなければ昇降機能があっても行くことはない。地上部分を公園としてどれだけ魅力的にするかが死活的に重要。ゾーンBへの動線を考えるなら、広小路通のグランドレベルをメインとすべきで、地下からのエスカレーターは三越の建替えの中で確保すればよい。公園だけでなくもっと広く街を捉えて、グランドレベルの歩行者が快適に気持ちよく歩けるようにするのが、ウォークブルということではないのか。空間の魅力、心地よさで人が自然に来てしまうような公園(札幌の大通公園がそう)にするのが一番重要。

市の考え方

- 久屋大通再生有識者懇談会が令和2年3月に提言した「久屋大通のあり方(南エリア部分)」の中で、ゾーンBについては次のような記述がなされています。
 - ・ 人の流れが多い地下鉄駅・地下街と接するとともに、東西の沿道には大規模商業施設等が存在する立地を活かし、久屋駐車場の一部の機能転換により、地下街・沿道・公園をつなぐ結節点となる交流性の高い大空間を整備し、新たな人の流れを創出する。
 - ・ 地上の両広場(サカエ ヒロバス、愛の広場)について広場の一体化を図り、滞留空間を創出することにより、沿道の商業施設、地下街を訪れた人など様々な人を、日常とも

非日常とも異なる、いわば「異」日常というべき空間へ迎え入れる「異日常空間へのエントランス」のような空間とする。

- このような提言の趣旨を踏まえながら、地下から地上へ人を吸い上げる昇降機能の導入、往来しやすい広場の整備、にぎわいを生む利便施設の設置などについて具体的に検討することで、南エリアの起点となるメインゲート空間として整備を進めていく考えです。

《「モビリティ」について》（6件）

市民意見の概要

- ・歩く人の話はたくさん出てきますが、LUUP みたいなマイクロモビリティの話が無いように感じます。どうせこの流れは変わらないので、抗うより混ぜ込んでく方が懸命だと思います。人、車、マイクロモビリティ（自転車・LUUP など）って区分けして道を作れば、人を大須や新栄町のようなところへ人を誘導しやすいのでは？むしろチョコチョコされると危険なので安全のためにも検討を！また、マイクロモビリティをしっかりと混ぜ込んだ町になれば、住みたい町のランキングに入ったりする新栄町駅周辺の人間を誘導でき、ベースとなる来場者を底上げできて余計賑わってる感が出せるのかなと。
 - ・モビリティに触れないのは、何故ですか？ウォークابلを推しているというけれども、歩く以外にも移動手段は色々はずです。
 - ・久屋大通公園は南北に長いので、歩き以外の移動手段（モビリティ）についても詳細に想定し、SRT 以外の新たなモビリティの導入を加点要件に入れてください。
 - ・都心のモビリティ（移動手段）の分野で起きるモビリティ X に対応したモビリティハブ（様々な交通モードの接続・乗り換え拠点）の整備を行う
- ①モビリティハブでは歩行者・自動運転車両・ロボットが共存できる空間として整備する
 - ②自動運転技術を活用したアーバンツーリズムの発着ターミナルとして整備する
- ・SRT はどこ行きました？点と点を結びましょう。乗降場所しか書いてないじゃないですか。SRT がただのバスならいいですけど。

市の考え方

- 今後実施を予定している民間事業者との対話を通じて、新たなモビリティの導入可能性や、導入する場合に園路などハード面や運用などソフト面で対応が必要な内容などを確認し、その実現性についても検討します。
- また、パーソナルモビリティ等の専用レーン設置については、道路空間活用の機運、今後の交通施策等を踏まえながら、継続的に検討します。
- SRT は、都心部における回遊性の向上や賑わいの拡大を図るため、まちづくりと一体となり、車両、乗降待合空間などが相互に連携したシステムとして導入を目指しています。
- 令和7年度後半には、名古屋駅ー栄間を広小路通でつなぐ東西ルートでの運行開始を予定しており、栄が東西ルートの起終点として、ゾーンAの希望の広場にシンボリックで開放感のあるデザインの上屋やデジタルサイネージ機能がある乗降・待合空間を整備します。

《「物流機能の確保」について》（4件）

市民意見の概要

- ・平成25年6月に公表された「栄地区グランドビジョン～さかえ魅力向上方針～」には、「地下駐車場については、相互利用による効率化を図るなど、地域の拠点駐車場として活用しつつ、集客、歩行者通行、自転車駐車、物流、防災のための利用などの多機能化に向けて取り組みます」との記載が、令和2年3月の「久屋大通のあり方（南エリア部分）提言」には、「地下駐車場の機能転換部分には、荷捌き機能等の地域課題の解決に資する機能をあわせて導入する」と記載されています。

栄地区で久屋大通公園と地下街は、都市の魅力と利便性を高めるために、互いに補完し合いながら機能しています。荷捌き機能等は地下街店舗にとって最も重要な施設です。仮に地下駐車場もしくは転換施設に荷捌き機能等が確保されないと、地下街や地下施設（駅など）への物流アクセスの悪化にとどまらず、地上で荷捌きを行わざるを得なくなり、栄地区の交通安全や円滑な交通に悪影響を及ぼします。そのため、「久屋大通（南エリア）再整備構想」の成案には、「地下駐車場に荷捌き機能等を確保、導入する」ことを明記されることを要望します。

- ・ハイルフ車両対応の共同荷捌き場（ストックポイント＝SP）を設けて荷物の集約・仕分けを行い、地下街通路を活用して、地下街テナントや接続ビル等へ配送し、物流の効率化と地上のうろつき車両の削減を行うこと。また、共同荷捌き場（SP）からユーザーまでのラストワンマイルを担う配送用ロボットを活用すること。

市の考え方

- 物流機能の確保は、栄地区の魅力と賑わいを創出している重要な要素である周辺の地下街にとって重要な事柄であると認識しています。頂いたご意見を踏まえ、24ページ「○地下から地上へ人を吸い上げる昇降機能の導入」に下記文章を追加します。
「・昇降機能を導入する際に久屋駐車場の改修を実施する場合には、現在、駐車場が担っている地下街の荷さばき機能が確保されるよう検討します。」

《「駐輪場の整備」について》（6件）

市民意見の概要

- ・再整備構想案には、公園内等の既存駐輪場についての記載がなく、今後の取り扱いが不明で不安がある。
- ・栄東地域（栄4・5丁目）では、長年放置自転車や違法駐輪が問題となっていたが、地域住民・事業者・行政の協働によるパトロール等の取り組みにより、徐々に改善が進んでいる。改善に向かう一助となっている各駐輪場は、名古屋市の自転車利用課と協議を重ね、現在の設置位置や台数等に至った経緯があり、いずれも頻繁に利用されているため、再整備の際にはこれらの事情を考慮いただきたい。
- ・再整備後は、自転車利用者の増加が予想されるため、ヒロバスのような中心地の既存駐輪場を残すことや地下駐輪場を新たに整備する等し、利便性の高い場所に十分な駐輪場を確保いただきたい。

市の考え方

- 駐輪対策は、再整備する南エリアだけでなく、周辺地域にとっても重要な事柄であると認識しています。頂いたご意見を踏まえ、17ページ「○快適に歩ける空間の整備」に下記文章を追加します。

「・駐輪場について、再整備後の施設利用者の自転車での来訪の増加や、既存の駐輪場の利用者の利便などに一定配慮しつつ、再整備後の広場や歩行空間を十分に確保できるように、その数や設置場所を検討します。」

《「憩い・集う公園」について》（11件）

市民意見の概要

- ・各ゾーンの整備方向は名古屋らしく機能的で都市生活の満足度向上に寄与しますが、ゆとりや自然を感じられる「街中の居場所」のような方向性が1か所あれば、機能性・利便性と合わせて都心の価値が一層増すと思います。
- ・イベントエリアは日常の憩いの空間として全面芝生敷とする。
- ・サードプレイスを標ぼうするのであれば、居場所の創出となります。滞留する仕掛けや取り組みを要件に入れてください。
- ・都心エリアに住む子育て世帯もゆっくり寛げるお店やメリーゴーランドなど小さい子どもが遊べる施設があると、平日昼間でも子育て世帯で賑わいが生まれたり、街への思い入れができる場所になると思います。また最近ではインバウンド客も、小さい子連れで旅行するという事も増加傾向にあるので、小さい子連れインバウンド客も取り込めるような、言語の壁なく、ゆっくり休憩でき、そこから大須や栄周辺等に観光で周遊してもらい、名古屋を長く楽しんでもらえるようになると良いと思います。
- ・平日に人が集まる仕組みづくりが必要。人を集める仕掛けがないと、箱だけでは空き店舗が増えるので、子育て世代、学生、ビジネスマン、高齢者が集まるように、幼稚園・図書館・シェアオフィス・介護施設などの複合施設を整備したり、市役所の分室を設け、公園に人が来ざるを得ない環境をつくることで、来た人向けの飲食などの事業も潤い、稼げる公園にして欲しいです。
- ・カフェやランチの混雑時にテイクアウトした食事をとれるベンチの設置や、フリーマーケット（大規模でない方がふらりと寄れる）を実施してほしい。
- ・富山環水公園のスターバックスのような店内から久屋大通公園の南北の眺望を望めるガラス張りのカフェ等、人が集う魅力ある施設を設置してほしい。
- ・高齢者はかつてのような近所や家族、地域コミュニティのつながりは難しい。孤独、孤立の解消に寄与する居場所づくりを考えてほしい。
- ・イベントが行われていない日の寂しさ、閑散とした雰囲気は、憂うべき状況にある。芝生広場のように、イベントのない日でも人々が集い、くつろげるスペースとしての使い方ができるようにしてほしい。
- ・皇居のランニングコースのようにテレビ塔エリア～ゾーンDまでジョギングコースを整備して日常的に市民ランナーが集まるようにしてはどうでしょうか。ただ、その場合は近くに銭湯やスーパー銭湯、もしくは安価のシャワー設備等、汗を流せる施設もセットで整備が必要だと思います。
- ・満足度にトイレの数と質は大きく影響するので賛成です。更に一部はビルゲイツも投資している「人間の排せつ物を安全に処理しつつ、飲用水も抽出できるトイレ」の実証実験もしてはどうでしょうか？地震などの自然災害時に問題になるトイレと清潔な水、両面でも貢献できる設備となりえます。

市の考え方

- 頂いたご意見について、市民のリビングをつくる、自然に包まれる空間をつくる、ずっとい

たくなる場をつくるという観点から、次の整備の方向性を想定しています。

- ・ にぎわいを生み出す施設の周辺には、屋外で滞留することのできる空間を確保することで、来訪者同士の交流促進を図ります。
- ・ 栄地区への来訪者や周辺住民が都心の憩いの場として、平日も含めて日常的に利用したくなる滞在環境（ベンチなど）を確保します。
- ・ 子どもたちも楽しむことができる広場を設置するなど、人とのふれあいや遊びなどを通して様々な体験を提供し、健やかな育ちを支援できる空間の形成を図ります。
- ・ 居心地よく過ごせる空間を整備するために、各ゾーンには一定規模のオープンスペースを確保するとともに、来訪者が公園で散策や休憩をしたくなる園路やベンチなどを設置し、子どもから高齢者まで誰もが過ごしやすい工夫を施します。
- ・ 子育て世帯や障害のある方など、誰もが安心して利用できる、清潔で快適なトイレの設置・維持管理を行うなど、多様な人を受け入れる空間の整備に努めます。

《「植栽」について》（5件）

市民意見の概要

- ・ エンゼル広場とエディオン久屋広場については頻りにイベントが行われているため、北エリアと調和しながら歩道・広場全体の地面と植栽を整備すれば良いと思います。
- ・ 自然に親しむ空間づくりも都心の公園としてはもっともな方向性ですが、イベント空間とは相反する方向性なのでエリアは限られるのでしょうか。久屋大通では最南端の若宮大通との接点はその方向性にはふさわしいかもしれません。若宮大通は歩道側の街路樹の唐カエデ、中央分離帯側の街路樹のイチョウが、秋には素晴らしい景観を見せてくれて、紅と黄が延々と続くさまはもう名所と言っても過言ではないでしょう。そこの接点ですので、その名所の入り口としてより効果を高める整備もありかと思えます。
- ・ 都会の子供たちに”自然”というものを感じ学んでもらいたい。大木でなくてもよい。中木が理想です。春にはサクラ、秋には紅葉です。
- ・ 緑地として鬱蒼としている必要はないが、久屋大通は、緑地帯や公開空地の少ない名古屋の栄では貴重な、ゆったりとした空間である。名古屋を代表する空間であるということを忘れず、緑地をふんだんに、かつ意図的に設定するようにすべき。現状の“北側”にはそれが不足し過ぎである。
- ・ 都心にある公園緑地は貴重な場であり、お昼の休憩時には多くの人がお弁当を持参するなどして憩いの場として役に立っている様子も見てきています。北エリア・テレビ塔エリアが、かつての樹木が多かった場所から、さながら公園ではなく、街、またはお店が並ぶ場所に激変してしまった様子を目の当たりにして、無機質な空間になってしまったのを残念に思っています。賑わいは確かにありますが、公園全体がそのような状態になったら、名古屋市民や名古屋に勤務する人が仕事の合間などに心を落ち着ける空間がすっかり無くなり、ゆとりの無い場所となりそうです。温暖化やヒートアイランドが以前に増して深刻となっている中、栄の久屋大通公園の樹木を残していく方策こそが望ましい未来のあり方では無いでしょうか。
- ・ 北エリアの芝生のない「芝生広場」は約束違反、あるいは詐欺と思うが、あのようにならないよう芝生にするなら管理、養生はしっかりやってもらいたい。なお、北エリアで芝生広場をまともに維持出来ないなら、管理者から違約金をもらうべき。

市の考え方

- 豊かな緑に囲まれたスケールの大きな空間を継承し、居心地の良い空間を形成するために、既存の樹木を保全することはとても大事なことでと認識しています。頂いたご意見を踏まえ、18ページ「○自然を感じられる空間の整備」の文章について、下記のように文言を修正します。

「・久屋大通の南北全体に連なる高木の列植については保全することを基本とし、将来に向けて豊かで健全な樹木環境を確保する目的や、回遊性の向上など再整備に必要な場合には、既存の樹木の間伐・更新を行います。」

《「安心・安全の確保」について》（2件）

市民意見の概要

- ・南エリアは、夜間は暗く治安が悪いため、立ち入りかばかれる状況であり、改善が必要です。照度を上げて、明るい雰囲気を作ってほしい。

市の考え方

- 夜間の公園内の防犯性の向上を図るために、夜間照明の設置や沿道からの見通しの改善などに努めます。

《「北エリア・テレビ塔エリアとの連携」について》（2件）

市民意見の概要

- ・北エリアの状況を添付していましたが、良かった点や反省すべき点などのアンケートを取り、参考要件としなかったのは何故ですか？
- ・南エリアの再整備の必須要件に、北エリアとの連携を入れてください。

市の考え方

- 北エリア・テレビ塔エリアの再整備の状況については、毎年、公園利用者に対してアンケート調査を行い、様々な項目についての満足度やご意見を確認しています。また、本構想の策定に際して、久屋大通再生有識者懇談会を開催し有識者や専門家の皆様から、さらにグループ別意見交換会を通じて周辺企業や地域の皆様のご意見を直接伺っております。加えて、今回市民の皆様からも様々なご意見を頂いており、これらのご意見を踏まえ、南エリアの再整備の具体化に向けた検討を進めてまいります。
- 北エリア・テレビ塔エリアと南エリアの連携は、栄地区全体の賑わいや魅力の創出の観点から、再整備する南エリアだけでなく周辺地域にとっても重要な事柄であると認識しています。頂いたご意見を踏まえ、22ページ「○水景施設のあるシンボリックな景観の形成」について、下記のように文言を修正します。
「・中部電力 MIRAI TOWER への景観を意識するなど、広場のデザインを工夫することで、北エリア・テレビ塔エリアも含めた南北に延びる久屋大通の一体性・連続性を感じられる空間とします。」

《「大須との連携」について》（4件）

市民意見の概要

- ・「栄と大須の間の人の流れをつなげる空間」は回遊性と魅力の拡大が期待できます。
- ・若宮大通りの名古屋高速高架下の再整備をして、南エリアからフラリエまでの動線を公園として一体感を持たせる。

- ・若宮大通の横断は、一回の信号で渡り切れないので、高架橋などを設置する。
- ・若宮・大津通交差点に栄と大須をつなぐ地下空間を設け、若宮パーク駐車場や商業施設を經由して地下鉄矢場町駅にもつながる地下ネットワークが望ましいです。

市の考え方

- 南エリアの再整備と各種施策を連動させることにより、栄地区と大須地区の間の回遊性向上や、南エリアからのにぎわいの波及を図ってまいります。

《その他》(35件)

市民意見の概要

- ・図書館で借りた本の返却ボックスの設置（生活範囲に図書館がない市民が多い）
- ・状態の良いものに限っての服や雑貨の引き取り・交換（現在はきれいなものでも資源ごみに出している）
- ・他県から来た人、名古屋に来たことがある人から多く聞かれることは、名古屋の人はどこで遊ぶの？です。実際、市民でも栄に来る目的は買い物と食事ではないでしょうか？歩き疲れても休む場所は飲食店に入る以外の選択肢はありません。魅力ある街は、あちこちに緑がありベンチがあり人が立ち止まる場所があります。住む人、名古屋を訪れる人にとって居心地の良い街にしていきたいです。
- ・ARやVR、NTTのIOWN(低遅延のネット回線)を活かせるステージなどを設置できると良いと思います。また、そういった技術と相性が良く、海外にも知名度・発信力が高いVtuberとのイベントやコラボも検討していくと良いと思います。
- ・デジタル技術の活用などによるエリア価値の向上はこのエリアを特区にして進めて欲しいです。南北に長い公園になりますので、『自動運転バスが公園の周りを巡回』『南側のお店のランチを、ドローンが北側まで運んできてくれて、北側の芝生で食べれる』などなど、様々な実験の場所にし、STATION Aiとも連携。高輪ゲートウェイシティーに負けない形にして欲しい。
- ・デジタル技術を活用した機動的なまちづくり
公共施設や自然環境の機能や利用状況などの基礎的な情報をデジタル化することにより、エビデンスに基づく公共空間の利活用や運営状況等の評価など。どうせデータ取るなら「防犯カメラ×ビックデータ×AI」みたいな感じで具体的にPRできるデータを取れるといい。スタートアップ支援事業を活用したり、地元大学の天才たちを活用したりするといい。
- ・名古屋にとってかなり重要なプロジェクトですので、有識者もそうですが、普段からこの場所を市民や三井などの民間を巻き込んで議論を進める形にして欲しい。私も含め、無償でもサポートする方はいると思います。
- ・この構想は久屋大通公園ではなく市道久屋大通なので、公園だけでなく道路沿線も一緒に魅力あるものにしてほしいです。そのためにはこの市道沿い及び脇道にある駐車場を撤去し、新設も禁止してほしいです。特にパルコ駐車場にはバーゲン時や年末等に若宮大通りまで駐車場待ちの列が伸び、渋滞ができたり、市バスがバス停に付けられなかったり街の機能停滞や景観悪化の原因になっています。公園の再整備にあたり来訪者も増えることを考えるとこの地域の路面駐車場のあり方を強く規制してほしいです。
- ・矢場町駅は駅北側と公園に2番出入口のような出入口を増設し利便性を高める。
- ・東西の高低差の処理について、構想においても東側沿道の崖に触れられていますが、この高低差の処理如何で再整備の成否が決まると考えます。現状の崖を作る方法では東西の一体感

が感じられないので、公園の中で段差を設け東側からひな壇を見上げるような形がよいと考えます。その代わり大規模な建築物は建てられませんが、公園なので問題ないと考えます。南北に 500mもある大規模ひな壇なんて他に類がなく魅力になりませんか？また、車道を東西に横断する歩行者用の橋又は地下通路をシンボリックに設けてください。

- ・防犯・防災対策を強化してほしい。
- ・新堀川唯一の水源と言ってよかった堀留水処理センターが廃止されると、新堀川の悪臭がより悪化する可能性があります。新堀川流域における下水道の分流化は絶対に必要ですが、それだけでは水質改善は難しいと思います。堀留水処理センターを最新鋭の高度処理化に更新し、そのより綺麗になった水で新堀川の浄化や、遠い将来には久屋大通公園に導水して公園づくりに役立てる等するのが、長期を見据えた名古屋都心の魅力向上に繋がると思います。
- ・P.12～13 整備イメージにおいて、「歩く楽しさ・喜びにあふれるウォークブルタウン」と「久屋大通の景観・緑で仕立てる Well-being な空間」の引き出し線の場所は北エリアではないですか？前者は旧教育館跡地近く？後者はメディアヒロバ（もちのき広場南）？希望の広場には見えません。
- ・P.30 クロスポイントにおいて、「2本の100m道路（久屋大通・若宮大通）と都心の貴重な水辺空間（新堀川）による都市軸のクロスポイント」とありますが、若宮大通の照明ピラミッドがある広場は市民排除型花壇？になっており、現状では全く魅力がありません。南に続く久屋大通庭園フラリエとの一体性・連続性の担保が見られず、抽象的すぎて、イメージが湧きません。
- ・P.34 久屋大通の諸元において、久屋大通の延長距離は1,738m＝約1.7kmのはずですが、約1.8kmとなっているのは何故？切り上げ？
- ・多目的施設の建設等、再整備構想に関する情報が、栄東地域はじめ周辺地域の住民等に行き届いていない現状がある。周辺地域への説明や、住民の意見を聴取する機会を設けることをお願いしたい。
- ・久屋大通公園に来た人たちが栄東地域に足を踏み入れたいくなるようなアイデアも盛り込んでいただけますようお願いいたします。
- ・周りを道路に囲まれ、さらに公園を木が囲み、沿道から見えにくいいため、街の中心部の立地にもかかわらず目的がない方以外はわざわざ足を運びにくい。
- ・栄のど真ん中の一番メインの所に有る噴水もう要らないだろう、凄く暗い、メインだぞあそこは。観光で来て面白い噴水？夜は暗いし。
- ・「光の広場・舟形のオブジェ」はどうするつもりなのか。場合によっては撤去すべきではないのか。テレビ塔（中部電力 MIRAI タワー）に向かってレーザー光線を照らしていたこともあったが、いまやテレビ塔の演出が変わっている。もう役目は終えたのではないか。
- ・ルール変更や見直しを1年に一度必ずオープンな形で行うようにしてください。
- ・戦後100年を意識した5年・10年・15年・20年平和イベント開催施設可能な施設の新設、平和遺産の集約・保全。
- ・FエリアとGエリアを一体化して公共性と民間複合施設（PFI方式）を設置
（コンセプト）アスナル金山のイメージをバージョンアップした“22世紀にむけたアスナル栄”地形の高低差をうまく活用。地階：矢場町駅のリニューアルをかねてコンコース拡張。
1階・2階（地上面）：D・Fエリアにおけるイベント機材の搬入搬出の作業スペース、演者の控えスペース、BRT・タクシー乗降場。3階・4階：中距離・長距離バスターミナル整備（名鉄バスターミナル建て替えにおける代替機能を兼ねる）。名古屋都市高速（バス・指定車両限

定) ETCIIC を施設につなげる。 5階(屋上): 屋上庭園。ABCDE エリアから上向きに見通せる一体感を持った施設デザイン。緊急時のヘリポートを兼ねる。

市の考え方

- 公共的な機能や施設の導入、デジタル技術など新技術の活用、久屋大通だけでなく栄地区全体や周辺も含む展開などを含め、ハードだけでなくソフト面にわたる様々なご意見を頂きました。本構想は再整備の事業化に向けた基本的な考え方をお示しするものになります。具体的な再整備の内容については、市民の皆様から頂いたご意見も参考にしながら、今後実施を予定している民間事業者との対話を通じて、その効果や実現性、事業費や事業スキームなどの検討を経て、具体化していく考えです。
- 具体的に再整備を進める際には、その内容な実際の工事の進め方などについて、周辺地域の皆様へご説明する機会を作るなど、情報をしっかりとお伝えするように努めてまいります。
- 12 ページ～13 ページの久屋大通の未来の姿について、「歩く楽しさ・喜びにあふれるウォーカブルタウン」「久屋大通の景観・緑で仕立てる Well-being な空間」の引き出し線について、ご指摘を踏まえ修正いたします。
- 34 ページの久屋大通の諸元について、久屋大通(都市計画道路 3・1・1 号久屋町線)の延長は 1,740m のため、切り上げて約 1.8km と記載しておりましたが、ご指摘を踏まえ、約 1.7km に修正いたします。

名古屋市住宅都市局リニア関連都心開発部都心まちづくり課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
TEL : 052-972-2746 FAX : 052-972-4171
電子メール : a2768@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp